

# 第20期 決算公告

2022年6月28日

名古屋市中村区名駅一丁目2番4号  
株式会社名鉄マネジメントサービス  
代表取締役 古橋 幸長

## 貸借対照表

(2022年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	173,101	流動負債	167,019
現金及び預金	21,348	短期借入・金	166,977
未収金	4	未払金	7
短期貸付金	151,749	未払費用	29
		未払法人税等	5
固定資産	1		
有形固定資産	0		
工具器具備品	0		
		負債合計	167,019
無形固定資産	1	(純資産の部)	
ソフトウェア	0	株主資本	6,083
その他の無形固定資産	0	資本金	100
投資その他の資産	0	資本剰余金	5,405
繰延税金資産	0	資本準備金	2,505
		その他資本剰余金	2,900
		利益剰余金	578
		その他利益剰余金	578
		繰越利益剰余金	578
		純資産合計	6,083
資産合計	173,103	負債純資産合計	173,103

(注) 記載金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

# 損 益 計 算 書

〔 自 2021 年 4 月 1 日  
至 2022 年 3 月 31 日 〕

(単位：百万円)

科 目	金 額
売 上 高	181
売 上 原 価	149
売上総利益	32
販売費及び一般管理費	17
営業利益	14
営業外収益	0
営業外費用	-
経常利益	14
特別利益	-
特別損失	-
税引前当期純利益	14
法人税、住民税及び事業税	6
法人税等調整額	△0
当期純利益	8

(注) 記載金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

# 個別注記表

## 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### (1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法

無形固定資産 定額法

ただし、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）によっております。

### (2) 収益及び費用の計上基準

CMS利用料に係る収益は、主に中核会社からのCMS利用料であり、CMSサービス業務契約UFJ CMS利用契約に基づいてCMSサービスを提供する履行義務を負っています。当該CMSサービス業務契約、UFJ CMS利用契約は、CMS導入期間にわたり履行義務を充足する取引であり、履行義務の充足の進捗度に応じて収益を認識しております。なお、当該事業年度の計算書類に与える影響はありません。

## 2. 会計方針の変更に関する注記

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を当事業年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当事業年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当事業年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。また、当事業年度の計算書類に与える影響はありません。

## 3. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 0 百万円

(2) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務

短期金銭債権 0 百万円

短期金銭債務 107,458 百万円

## 4. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高

営業取引による取引高

売上原価 109 百万円

販売費及び一般管理費 9 百万円

5. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当該事業年度の末日における発行済株式の総数           普通株式           60,000   株

(2) 剰余金の配当に関する事項

①配当金支払額等

決議	株式の種類	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
2021年6月22日 定時株主総会	普通株式	3百万円	53円58銭	2021年3月31日	2021年6月23日

②基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期になるもの  
2022年6月22日の定時株主総会において、次のとおり付議いたします。

決議	株式の種類	配当金の総額	配当の原資	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
2022年6月22日 定時株主総会	普通株式	8百万円	利益剰余金	144円95銭	2022年3月31日	2022年6月23日

6. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生の主な原因は未払事業税、未払特別法人事業税の否認等であります。

7. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

当社の資金運用については、短期的な預金等に限定しております。なお、資金調達は親会社グループ内の余剰資金及び、親会社または銀行等金融機関からの借入であります。借入金の用途は親会社グループへの貸付金であります。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

2022年3月31日（決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、現金は注記を省略しており、預金、短期貸付金及び短期借入金は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似することから、注記を省略しております。

8. 関連当事者との取引に関する注記

(1) 親会社及び法人主要株主等

属性	会社等の名称	議決権等の所有（被所有）割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
親会社	名古屋鉄道	被所有100%	資金の借入	資金の借入	—	短期借入金	107,426
				借入金利息	109	—	—

(注) 親会社からの借入については、市場金利を勘案して決定しております。

(2) 兄弟会社等

属性	会社等の名称	議決権等の所有（被所有）割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
親会社の子会社	名鉄不動産	—	資金の貸付	資金の貸付	102,200	短期貸付金	85,617
				貸付金利息	105	—	—
親会社の子会社	名鉄ホールディングス	—	資金の貸付	資金の貸付	25,581	短期貸付金	12,886
親会社の子会社	名鉄協商	—	資金の貸付	資金の貸付	8,000	短期貸付金	8,636
親会社の子会社	名鉄運輸	—	資金の貸付	資金の貸付	7,464	短期貸付金	7,810
親会社の子会社	豊橋鉄道	—	資金の貸付	資金の貸付	7,500	短期貸付金	7,200
親会社の子会社	太平洋フェリー	—	資金の貸付	資金の貸付	3,750	短期貸付金	3,250
親会社の子会社	名鉄自動車整備	—	資金の貸付	資金の貸付	3,000	短期貸付金	3,000
親会社の子会社	名鉄インプレス	—	資金の貸付	資金の貸付	2,700	短期貸付金	2,700
親会社の子会社	名鉄観光バス	—	資金の貸付	資金の貸付	3,000	短期貸付金	2,698
親会社の子会社	名鉄観光サービス	—	資金の貸付	資金の貸付	2,500	短期貸付金	2,500
親会社の子会社	岐阜乗合自動車	—	資金の貸付	資金の貸付	2,780	短期貸付金	2,130

属性	会社等の名称	議決権等の所有（被所有）割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 （百万円）	科目	期末残高 （百万円）
親会社の子会社	エムアイシー	—	資金の借入	資金の借入	—	短期借入金	5,887
親会社の子会社	名鉄バス	—	資金の借入	資金の借入	—	短期借入金	5,643
親会社の子会社	めいてつかスタマサービス	—	資金の借入	資金の借入	—	短期借入金	3,654
親会社の子会社	マイテック	—	資金の借入	資金の借入	—	短期借入金	3,432
親会社の子会社	名鉄観光サービス	—	資金の借入	資金の借入	—	短期借入金	3,309
親会社の子会社	名鉄アト	—	資金の借入	資金の借入	—	短期借入金	2,340
親会社の子会社	名鉄コミュニティ	—	資金の借入	資金の借入	—	短期借入金	2,254
親会社の子会社	名鉄BIエンジニア	—	資金の借入	資金の借入	—	短期借入金	2,213

(注1) 親会社の子会社への貸付については、市場金利を勘案して決定しております。

(注2) 当社はグループ内の資金を一元管理するキャッシュ・マネジメント・システム(CMS)を導入しており、参加会社間で資金の貸借を日次で行っているため、CMSの取引金額は記載しておりません。

9. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額 101,391円77銭

1株当たり当期純利益 144円95銭